



# 水の文化 庄内の

# 農力



- 酒井忠久「藩校〈致道館〉に見る庄内人気質」
- 江頭宏昌「種を守る人々」
- 渡辺智史「映画「よみがえりのレシピ」から」
- 富樫達喜ほか「庄内の米づくり」
- 菊池常俊「庄内砂丘の水とメロン栽培」
- 清和亮次「庄内赤川水源林保全の歴史」
- 前川勝朗「庄内の里川 赤川と赤川頭首工」
- 堀口 校 シリーズ里川「富士山湧水の恵み—水掛け菜」
- 編集部「目指せ、善福寺川再生！」
- 古賀邦雄 水の文化書誌「赤川の流れを追う」

水の文化 February 2013 No. **43**

水の文化  
2013  
43



## ミツカン水の文化センター

表紙上：実りの秋を真近にした平野部の田んぼと鳥海山。  
 表紙下：1905年（明治38）天保堰から分水の許可が下り、完成した明治堰。水面部分を狭くし胴を広く掘っているのは、初めは秘蔵裡に掘ったから、見つけにくくするためだとか。分水を許してくれた集落へは、長年にわたって献納米を支払っていた。  
 裏表紙上：鶴岡市たらのぎ代字池の俣沢地内にある、手洗沢分水工（てみさわぶんすいこう）。円筒分水の縁に置かれたブロックが、水を公平に分けることの厳しさを物語っている。  
 裏表紙下左：安部公房『砂の女』のモデルになったのは、実は庄内砂丘だ。海岸砂丘の飛砂から土地を守るために築かれた、幅300mもの防風林帯の内側、平野側の畑と畑の間の狭い道沿いにもクロマツが植えられている。強い風と砂から土地を守ってきた人たちの苦勞と努力がしのばれる。  
 裏表紙下右：山形県東田川郡庄内町南野にある、亀ノ尾の里資料館。品種改良して亀ノ尾を生み出した阿部亀治だけでなく、多くの篤農家による品種改良の伝統が、この地に息づいてきたことがうかがえる。

